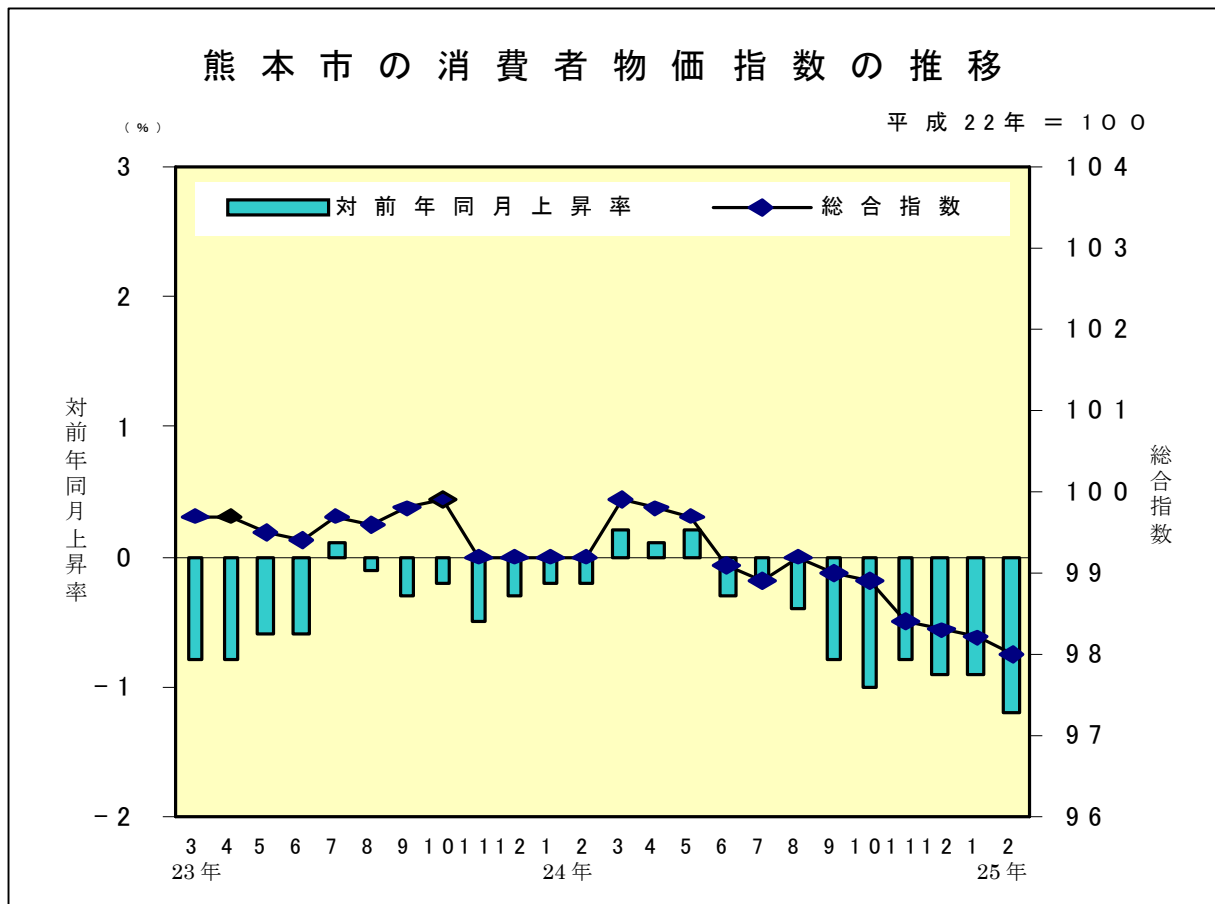


平成22年基準

熊本市の 消費者物価指数

平成25年2月分



熊本県統計調査課

2月の熊本市の消費者物価指数の動向

総合指数	98.0
前月比	-0.2%
前年同月比	-1.2%

総合指数は、平成22年を100として98.0となり、前月比は-0.2%となった。

前年同月比でみると、平成24年11月は-0.8%、12月は-0.9%、平成25年1月は-0.9%と推移した後、2月は-1.2%となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数は98.0となり、前月比は同水準となった。

前年同月比は、平成24年11月は-0.7%、12月は-0.7%、平成25年1月は-0.7%と推移した後、2月は-0.7%となった。

また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は97.0となり、前月比は-0.1%となった。前年同月比は、平成24年11月は-0.7%、12月は-0.7%、平成25年1月は-0.8%と推移した後、2月は-0.8%となった。

○上昇及び下落した主な項目(寄与度順)

(1)前月との比較

△上昇した主な項目

自動車等関係費	(+)	0.9%
他の光熱	(+)	10.1%
調理食品	(+)	1.2%

▽下落した主な項目

野菜・海藻	(-)	8.0%
洋服	(-)	6.1%
果物	(-)	6.1%

(2)前年同月との比較

△上昇した主な項目

自動車等関係費	(+)	3.3%
他の光熱	(+)	14.6%
飲料	(+)	2.5%

▽下落した主な項目

野菜・海藻	(-)	12.5%
教養娯楽用耐久財	(-)	20.2%
果物	(-)	15.7%
穀類	(-)	7.2%

1 前月からの動き

総合指数の前月比は0.2%下落となった。

10大費目でみると、家庭用耐久財などの「家具・家事用品」が1.0%上昇となった。一方、洋服などの「被服及び履物」が3.2%下落となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数の前月比は同水準となった。

また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の前月比は0.1%下落となった。

○費目ごとの主な動き

(1)食料は97.1となり、前月に比べ0.9%の下落。

生鮮魚介	0.5%の上昇
生鮮野菜	12.3%の下落
生鮮果物	6.3%の下落

(2)光熱・水道は104.9となり、前月に比べ0.2%の上昇。

他の光熱	10.1%の上昇
電気代	0.4%の下落
ガス代	0.4%の下落

(3)家具・家事用品は85.9となり、前月に比べ1.0%の上昇。

家庭用耐久財	3.6%の上昇
家事用消耗品	1.4%の下落
家事雑貨	0.9%の上昇

(4)被服及び履物は91.9となり、前月に比べ3.2%の下落。

洋服	6.1%の下落
シャツ・セーター類	3.2%の下落
下着類	0.8%の下落

(5)交通・通信は101.8となり、前月に比べ0.5%の上昇。

自動車等関係費	0.9%の上昇
---------	---------

(6)教養娯楽は90.9となり、前月に比べ0.2%の上昇。

教養娯楽用耐久財	1.2%の上昇
教養娯楽用品	0.3%の下落
教養娯楽サービス	0.3%の上昇

表1 10大費目別対前月上昇率及び寄与度

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合
指数	98.0	97.1	99.5	104.9	85.9	91.9	98.8	101.8	98.4	90.9	103.1	98.0	97.0
上昇率 (%)	▲0.2	▲0.9	0.0	0.2	1.0	▲3.2	0.0	0.5	0.0	0.2	0.0	0.0	▲0.1
寄与度	▲0.2	▲0.22	▲0.01	0.02	0.03	▲0.13	0.00	0.07	0.00	0.02	0.00	0.03	▲0.09

* 寄与度は、各品目または各項目の総合指数の上昇率に対する影響度を見るもの

2 前年同月との比較

総合指数の前年同月比は1.2%下落となった。

10大費目でみると、自動車等関係費の上昇により「交通・通信」が1.4%上昇となった。一方、家庭用耐久財などの下落により「家具・家事用品」が4.1%下落となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数の前年同月比は0.7%下落となった。

また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の前年同月比は0.8%下落となった。

○費目ごとの主な動き

(1)食料は97.1となり、前年同月に比べ3.6%の下落。

生鮮魚介	1.1%の上昇
生鮮野菜	20.0%の下落
生鮮果物	16.1%の下落

(2)光熱・水道は104.9となり、前年同月に比べ0.9%の上昇。

他の光熱	14.6%の上昇
電気代	0.6%の上昇

(3)家具・家事用品は85.9となり、前年同月に比べ4.1%の下落。

家庭用耐久財	12.3%の下落
寝具類	9.6%の上昇
家事雑貨	3.2%の上昇

(4)保健医療は98.8となり、前年同月に比べ0.9%の下落。

保健医療用品・器具	4.8%の下落
医薬品・健康保持用摂取品	0.6%の上昇

(5)交通・通信は101.8となり、前年同月に比べ1.4%の上昇。

自動車等関係費	3.3%の上昇
通信	1.1%の下落
交通	0.4%の下落

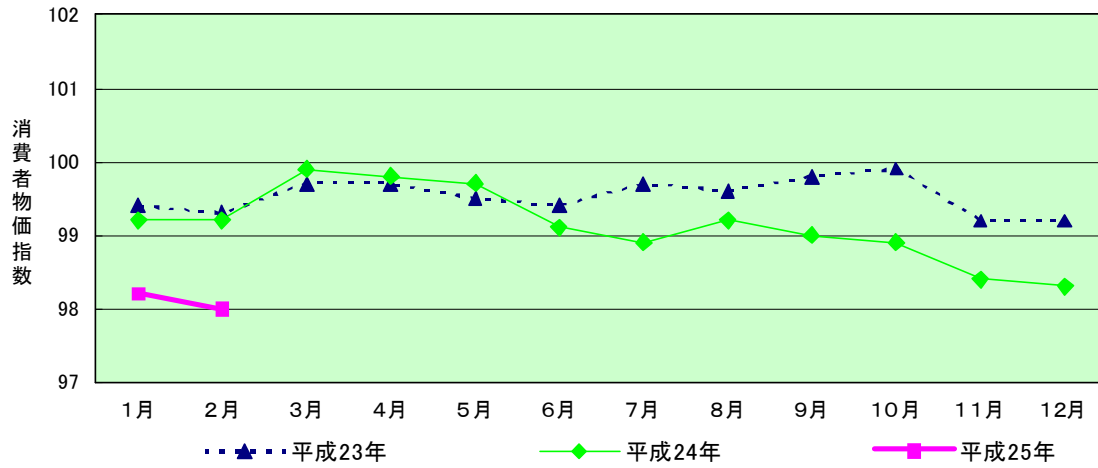
(6)教養娯楽は90.9となり、前年同月に比べ3.0%の下落。

教養娯楽用耐久財	20.2%の下落
教養娯楽用品	2.0%の下落
書籍・他の印刷物	0.4%の上昇

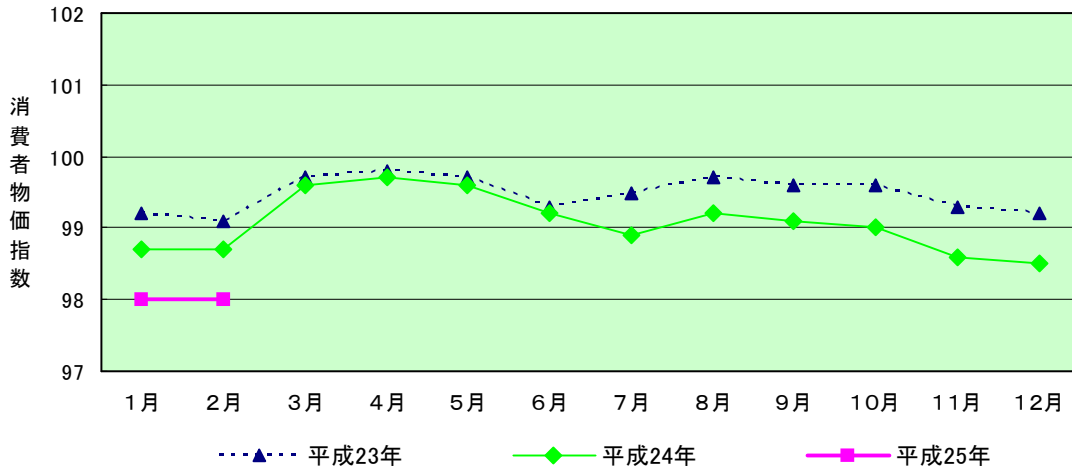
表2 10大費目別対前年同月上昇率及び寄与度

		総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合
対前年同月上昇率(%)	1月	▲ 0.9	▲ 2.7	▲ 0.2	0.9	▲ 5.8	1.3	▲ 0.7	0.7	0.6	▲ 2.3	▲ 0.2	▲ 0.7	▲ 0.8
	2月	▲ 1.2	▲ 3.6	▲ 0.2	0.9	▲ 4.1	0.7	▲ 0.9	1.4	0.6	▲ 3.0	▲ 0.4	▲ 0.7	▲ 0.8
寄与度	1月	▲ 0.9	▲ 0.70	▲ 0.03	0.07	▲ 0.17	0.05	▲ 0.03	0.09	0.03	▲ 0.23	▲ 0.01	▲ 0.68	▲ 0.52
	2月	▲ 1.2	▲ 0.94	▲ 0.04	0.07	▲ 0.12	0.03	▲ 0.04	0.19	0.03	▲ 0.30	▲ 0.03	▲ 0.64	▲ 0.57

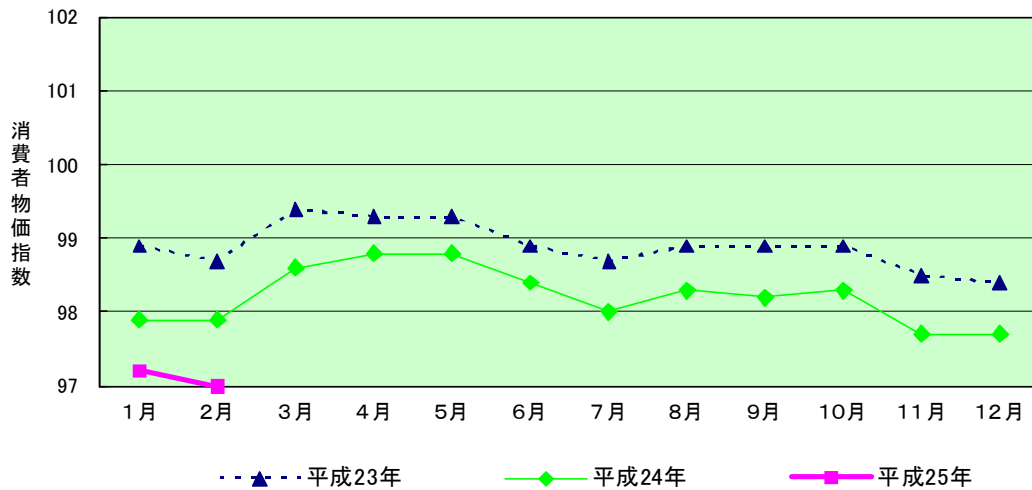
総合指数の推移



生鮮食品を除く総合指数の推移



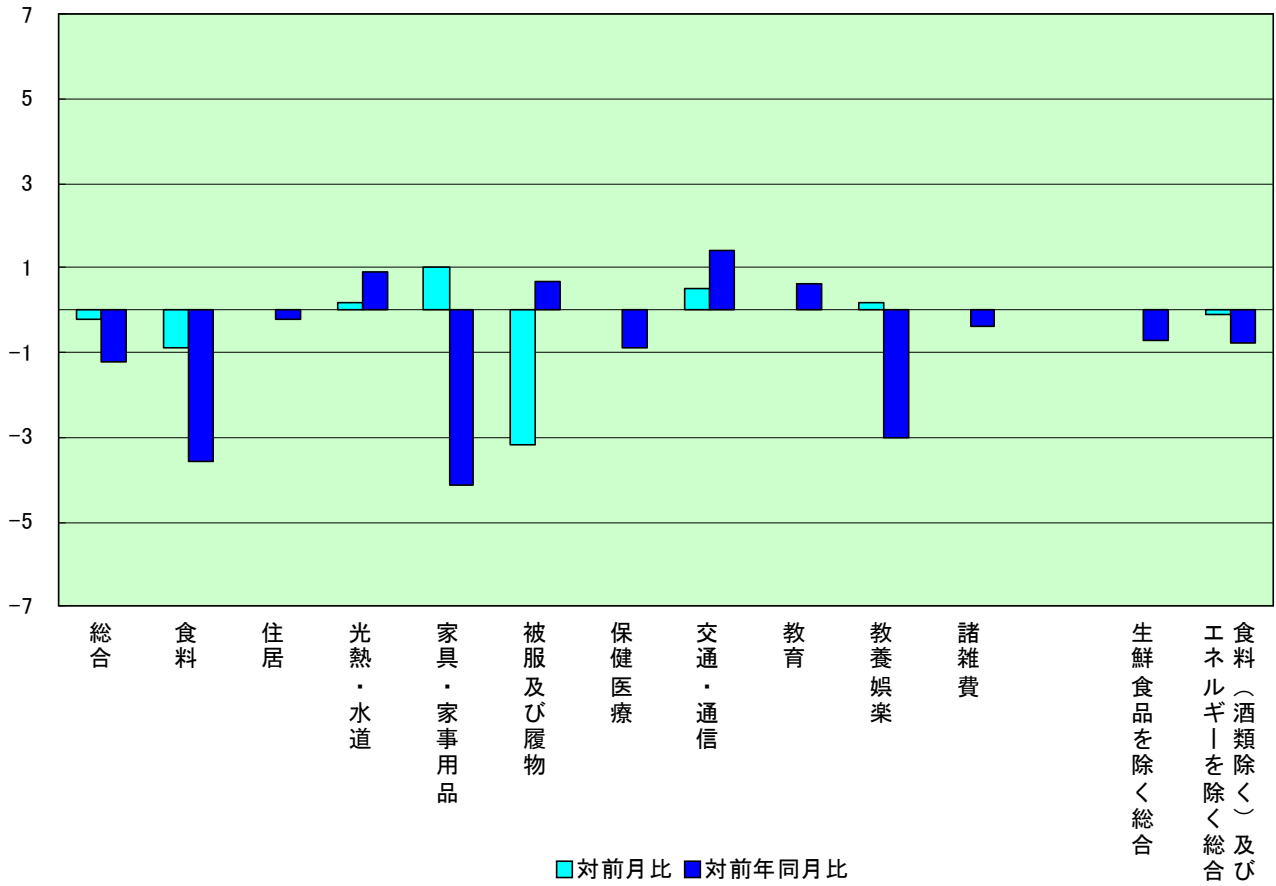
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の推移



上昇率(%)

10大費目別 対前月比 及び 対前年同月比

平成25年2月



生鮮品目の推移

